

日本看護協会認定教育機関
聖路加国際大学 教育センター

2022 年度
認定看護管理者ファーストレベルプログラム
研修生募集要項



聖路加国際大学教育センター 認定看護管理者ファーストレベルプログラムについて

本学は、キリスト教精神に基づいて 1920 年に創立された聖路加国際病院附属高等看護婦学校を母体とし、創立以来一貫して看護教育に携わってきました。1964 年に大学の認可を得、現在は看護学部並びに大学院看護学研究科（修士・博士課程）をもつ大学です。2014 年 4 月 1 日より、大学名称を聖路加看護大学から聖路加国際大学に変更いたしました。

教育センターは、聖路加国際大学の附置機関の一つとして位置づけられています。

『認定看護管理者ファーストレベルプログラム』は 2004 年度に開講致しました。2005 年度には日本看護協会の認定教育機関となり、日本看護協会認定看護管理者教育課程ファーストレベルカリキュラム基準*に基づき実施しております。

● 教育理念

聖路加国際大学の教育理念に基づき、保健医療福祉分野における看護管理者として必要な基礎知識を習得し、組織やコミュニティでリーダーとして活躍できる能力を開発する。

研修生との対話を中心とした、臨床現場に密着した授業を行うとともに、研修生のキャリア発達に貢献する。

● 教育目的

1. 看護専門職として必要な管理に関する基本的な知識・技術を習得する。
2. 看護を提供するための組織化ならびにその運営に必要な知識・技術を事例と関連させながら考察する。
3. 組織的に看護サービスを提供するために諸問題を客観的に分析し記述する能力を習得する。

● 2022 年度の授業形態

オンラインでの講義を中心とし、演習は短期間に集中して対面で実施します。

● 教育の特徴

1. 聖路加国際大学の教員、看護師および学外の各分野の専門家が授業を担当します。
2. 集中して看護マネジメントの学習を行なう夏季集中講習です。
3. 聖路加国際大学の図書館、メディアルーム、オンライン学習システムなど充実した教育環境を提供します。
4. 確実な問題解決手法を学びます。
5. 大学は交通の便がよい都心にあります。
6. 認定看護師教育課程の研修生と交流する機会があります。多角的な意見交換が可能です。

看護マネジメントを学んでみようという意欲のある方をお待ちしています。

*日本看護協会認定看護管理者教育課程ファーストレベルカリキュラム基準 教育目的

看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。

*日本看護協会認定看護管理者教育課程ファーストレベルカリキュラム基準 到達目標

1. ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。
2. 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。
3. 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。

1. 募集人員

80 名

2. 受講要件

下記の条件を満たしているもの。

- (1) 大学受験資格のあるもの。
- (2) 日本国の看護師免許取得後、実務経験が通算 5 年以上あるもの。
- (3) 管理的業務に関心があり、管理的業務に従事することを期待されているもの。

3. 申込方法

(1) 出願書類

※ 本学指定の様式をホームページ (<http://edu-sk.luke.ac.jp/>) よりダウンロードしてください。

① 2022 年度認定看護管理者ファーストレベルプログラム申込書 (様式-1)

② 小論文 ※書式自由、各自でご用意ください。

課題: 「私が認定看護管理者ファーストレベルプログラムを受講する理由」

形式: A 4 用紙 1 枚 1,000 字程度 (ワープロソフト使用のこと、手書きは不可)

③ 出願料納入票 (様式-2) ※検定料を指定口座へ入金したことがわかる証明書 (振込証明書、利用明細、振込完了画面を印刷したもの等) を貼付 (コピー可) してください。

④ 看護師免許証の写し (A 4 版縮小コピー) 1 部

(2) 出願料

① 出願料 1 万円

② 振込先

〔銀行・支店名〕 三菱東京 UFJ 銀行 振込第一支店 (店番 313)

〔口座番号〕 当座 8800800

〔口座名義〕 ガク) セイルカコクサイダイガク

学校法人聖路加国際大学

⑤ 注意事項

※ 金融機関の窓口、ATM (現金自動預け払い機)、インターネットバンキングのいずれかの方法を用いて納入してください。

※ ご依頼人名は、出願者本人氏名としてください。

※ 振込手数料は、ご負担ください。

※ 取扱銀行の収納印をもって領収証に代えますので、振込金領収証は大切に保管して下さい。

※ 納入された出願料は、返還いたしません。

※ 申込書類が不備の場合には、受理しないことがあります。

※ 出願後、提出した書類に記載の氏名や住所等が変更となる場合は、速やかにお申し出ください。

(3) 提出先

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1

聖路加国際大学教育センター 生涯教育部宛

(4) 受付期間 2022 年 5 月 9 日 (月) ~ 5 月 31 日 (火) **必着**

※ 封筒余白に「認定看護管理者ファーストレベルプログラム申込書類在中」と朱書きし、出願書類一式をそろえて期日までに郵送してください。

4. 選考

(1) 2022 年度認定看護管理者ファーストレベルプログラム申込書により、受講要件 (1) (2) を満たしているかを判断します。

(2) 小論文の記述から論理的一貫性と受講要件 (3) について判断します。

＜小論文評価の主な視点＞

- ・ 何について書こうとしているのかが示されている。
- ・ 段落の構成が適確である。
- ・ 小論文として適切な文章構成となっている。
- ・ 受講要件 (3) について言及されている。

5. 受講手続きおよび受講料

- (1) 審査結果を2022年6月22日(水)までに本人に通知します。
- (2) 2022年7月8日(金)までに受講料をお振込ください。(振込先は出願料振込先と同じ)
- (3) 受講料(修了審査料含む): 195,000円(税込)
 - ※ 受講料納入後、開講日前日までに受講辞退の申し出があった場合、事務手数料として受講料の10%相当額を受講料から差し引いた金額を返還します。
 - ※ 開講日以降に研修生の都合により受講辞退の申し出があった場合は、納入された受講料は返還いたしません。
 - ※ 受講料の他にテキスト代等が自己負担です。

6. 開講期間

開講式: 2022年8月1日(月)

開講期間: 2022年8月1日(月)～2022年9月2日(金)

※ 土曜日は授業があります。

※ 第26回日本看護管理学会学術集会開催期間(8/19金-20土)は、授業はありません。

講義時間: 10:00～13:00 14:00～17:00

7. 教科目

教科目	単位数	実施予定時間数
ヘルスケアシステム論Ⅰ	1	15
組織管理論Ⅰ	1	15
人材管理Ⅰ	2	30
資源管理Ⅰ	1	15
質管理Ⅰ	1	15
統合演習Ⅰ	1	15
合計時間数		105

8. 授業形態

講義は原則『遠隔授業(オンライン)』で実施します。演習は感染予防策を徹底し、原則『対面』で行います。※詳細は5～7ページの「授業形態」をご参照ください。

感染拡大等により、予定していた演習を対面で行うことができない場合は、遠隔授業(オンライン)に切り替えることがあります。授業形態を変更する際は、manaba course2(オンライン学習支援システム)を通じてお知らせします。

遠隔授業は、Zoom(オンライン会議システム)を用いて実施します。【別紙】「オンライン授業受講のために必要な環境について」をご参照のうえ、ご準備ください。

9. 修了要件

- (1) 出席時間が各教科目規定の4/5以上であること。
 - (2) 全ての教科目について、筆記試験を受けている、または、課題レポートを所定の期日までに提出していること。
 - (3) すべての教科目の成績がC以上であること。
- 【成績評価】 A(100～80点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)の4段階で評価
- ※ 教科目責任者の判断により、再試験を行う場合があります。(再試験日: 9/29木、9/30金)
 - ※ 再試験には別途再試験料(1科目につき5,000円)が必要となります。

10. 修了審査について

認定看護管理者プログラム運営委員会で修了要件を満たしているかを審査し、修了者を決定します。

11. 修了証書と履修証明書の交付

審査の上、修了要件を満たした者には修了証書と履修証明書を交付します。

＜履修証明書とは＞

2007年の学校教育法の改正により、同年12月26日より大学等における「履修証明制度」が創設されました。従来の学士などの学位とは異なり、社会人等を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム修了者に対して交付されるものです。

修了式は2022年11月11日(金)を予定しています。

12. 個人情報の取扱いについて

出願書類に記載された個人情報については、研修生の教育と安全確保のために使用するものであり、学校法人聖路加国際大学個人情報保護規程に準じて管理されます。

13. 教育訓練給付金制度について

本学の認定看護管理者ファーストレベルプログラムは、厚生労働省より教育訓練給付制度の「特定一般教育訓練」として指定を受けています。(指定期間：2020年10月1日～2023年9月30日)

教育訓練給付制度とは、働く人の主体的な能力開発の取組みを支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者(在職者)又は一般被保険者であった方(離職者)が、本学の認定看護管理者ファーストレベルプログラムを修了した場合、本人が支払った教育訓練経費の一定割合に相当する額(上限あり)が公共職業安定所(ハローワーク)から支給されます。この制度の概要や手続き方法に関しては、厚生労働省ホームページ及び居住区の公共職業安定所(ハローワーク)でご確認ください。

※受講開始日1ヶ月前までに、ご自身によるハローワークでの手続きが必要です。

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html)

なお、本プログラムは『職業実践力育成プログラム(BP)』の認定を受けております。

「職業実践力育成プログラム(BP: Brush up Program for professional)」とは、大学・大学院・短期大学・高等専門学校におけるプログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム(BP)」として文部科学大臣が認定するものです。

本課程は、2019年12月19日付で文部科学省「職業実践力育成プログラム」に認定されました。

14. 教科目概要

※各科目の授業形態については変更になる可能性がありますのでご了承ください。

ヘルスケアシステム論Ⅰ 1単位 15時間 (教科目責任者：山田雅子)

<教科目内容>

1. 社会保障制度概論（社会保障制度の体系、社会保障の関連法規）
2. 保健医療福祉サービスの提供体制（保健医療福祉制度の体系：地域包括ケアシステム・地域共生社会）
3. ヘルスケアサービスにおける看護の役割（看看連携、地域連携における看護職の役割、保健医療福祉関連職種理解、看護の社会的責務と業務基準：看護関連法規・倫理綱領・看護業務基準）

単 元 名	時間	担 当 講 師	授業形態
地域医療連携システム作り①②③	9	山田雅子	オンライン
社会保障制度の枠組みと保健医療福祉政策①②	6	島崎謙治	オンライン
試験		山田雅子	

組織管理論Ⅰ 1単位 15時間 (教科目責任者：井部俊子)

<教科目内容>

1. 組織マネジメント概論（組織マネジメントに関する基礎知識、看護管理の基礎知識）
2. 看護実践における倫理（看護実践における倫理的課題、倫理的意思決定への支援）

単 元 名	時間	担 当 講 師	授業形態
組織マネジメント①	3	井部俊子	オンライン
組織マネジメント②	3	井部俊子	オンライン
看護管理者としての倫理	3	手島恵	オンライン
事例検討	6	相澤恵子、浅田美和、 井部俊子、奥裕美、 加藤恵子、松本直子、 山田雅子、吉田千文	対面
試験		井部俊子	

人材管理 I 2 単位 30 時間 (教科目責任者：加藤恵子)

<教科目内容>

1. 労働管理の基礎知識（労働法規、就業規則、健康管理（メンタルヘルスを含む）、雇用形態、勤務体制、ワークライフバランス、ハラスメント防止）
2. 看護チームのマネジメント（チームマネジメント、看護ケア提供方式、リーダーシップとメンバーシップ、コミュニケーション、ファシリテーション、准看護師への指示と業務、看護補助者の活用）
3. 人材育成の基礎知識（成人学習の原理、役割理論、動機づけ理論、人材育成の方法）

単 元 名	時間	担 当 講 師	授業形態
人材育成に必要なコミュニケーションスキル	3	井部俊子	オンライン
キャリア開発に必要な理論	3	井部俊子	オンライン
人材育成の基礎知識 熟達と経験学習	3	松尾睦	オンライン
人材育成の方法 経験学習を促す OJT	3	松尾睦	オンライン
研修プログラムの立て方①②	6	奥裕美、三浦友理子	オンライン
働き方のマネジメント、ワークライフバランス	4.5	加藤恵子	オンライン
交代制勤務と勤務体制	3	井部俊子	オンライン
看護チームのマネジメント	3	吉田千文	オンライン
事例検討	1.5	吉田千文	オンライン
試験		加藤恵子	

資源管理 I 1 単位 15 時間 (教科目責任者：松本直子)

<教科目内容>

1. 経営資源と管理の基礎知識（診療・看護報酬制度の理解、経営指標の理解、看護活動の経済的効果）
2. 看護実践における情報管理（医療・看護情報の種類と特徴、情報管理における倫理的課題、情報リテラシー）

単 元 名	時間	担 当 講 師	授業形態
看護実践における情報管理① 看護と情報 看護実践のための情報リテラシー	3	松本直子	オンライン
看護実践における情報管理② 情報管理における倫理的課題	3	美代賢吾	オンライン
医療における経営資源と管理①②	6	渡辺明良	オンライン
事例検討 看護管理者としてみる資源管理の課題	3	奥裕美、松本直子	オンライン
試験		松本直子	

質管理Ⅰ 1単位 15時間 (教科目責任者：奥裕美)

<教科目内容>

1. 看護サービスの質管理（サービスの基本概念、看護サービスの質評価と改善、看護サービスの安全管理、看護サービスと記録）。

単 元 名	時間	担 当 講 師	授業形態
看護サービスマネジメント論	3	井部俊子	オンライン
看護サービスマネジメントと看護提供体制	3	井部俊子	オンライン
Quality Indicator と医療の質管理	3	嶽肩美和子	オンライン
看護の質とは何か（記録のあり方）	3	奥裕美	オンライン
医療安全の世界標準と質向上	3	相馬孝博	オンライン
試験		奥裕美	

統合演習Ⅰ 1単位 15時間 (教科目責任者：吉田千文)

<教科目内容>

1. 演習（学習内容を踏まえ、受講者が取り組む課題を明確にし、対応策を立案する）

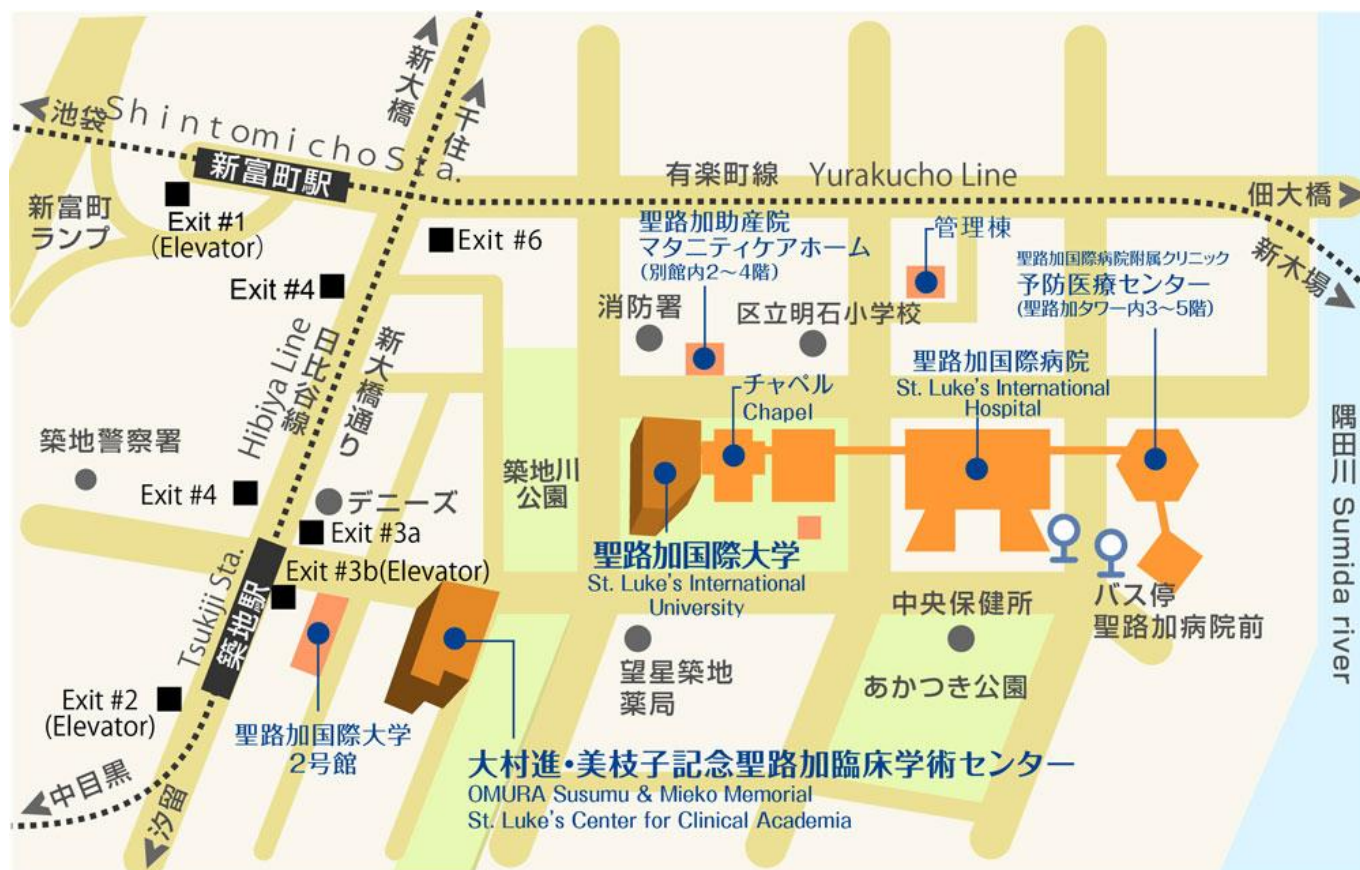
単 元 名	時間	担 当 講 師	授業形態
演習	15	相澤恵子、浅田美和、 井部俊子、奥裕美、 加藤恵子、松本直子、 山田雅子、吉田千文	対面
試験		吉田千文	

15. 担当講師一覧（五十音順）

講師名	所 属・役職・（専門領域）	※2022 年 2 月 28 日現在
相澤 恵子	聖路加国際大学大学院看護学研究科 助教（看護管理学）	
浅田 美和	聖路加国際病院 QI センター ナースマネジャー	
井部 俊子	長野保健医療大学看護学部 教授（看護管理学）	
奥 裕美 ○	聖路加国際大学大学院看護学研究科 教授（看護管理学） / 教育センター センター長	
加藤 恵子 ○	聖路加国際病院 看護部 副看護部長 / 聖路加国際大学 教育センター FDSO 部 部長	
島崎 謙治	国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科 教授 （医療経営管理分野 / 医療福祉経営学分野）	
相馬 孝博	千葉大学医学部附属病院 医療安全管理部 特任教授	
嶽肩 美和子	聖路加国際病院 看護管理室 ナースマネジャー	
手島 恵	千葉大学大学院看護学研究院 教授（病院看護システム管理学）	
松尾 睦	北海道大学大学院経済学研究院 教授（経営組織論）	
松本 直子	聖路加国際大学 学術情報センター 学習コミュニティ支援室 シニアアシスタントマネジャー	
三浦 友理子	聖路加国際大学大学院看護学研究科 講師（看護教育学）	
美代 賢吾	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 医療情報基盤センター センター長	
山田 雅子 ◎○	聖路加国際大学大学院看護学研究科 教授（在宅看護学） / 教育センター 生涯教育部 部長	
吉田 千文	常盤大学 特任教授（看護管理学） / 聖路加国際大学 教育センター	
渡辺 明良	聖路加国際大学 法人事務局長	

◎：課程責任者、○：専任教員

■ 本学へのアクセス



- 東京メトロ日比谷線 築地駅下車
入船橋方面 3a・b・4 番出口 徒歩 3 分
- 東京メトロ有楽町線 新富町駅下車
6 番出口 徒歩 5 分
- 都営地下鉄大江戸線 築地市場駅下車
A1 出口 徒歩 15 分
- ※ 駐車するスペースがない為、お車でのご来校はご遠慮ください。

2022 年度 聖路加国際大学 教育センター

認定看護管理者ファーストレベルプログラム 募集要項

2022 年 2 月 28 日発行

発行 聖路加国際大学 教育センター

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1

電話：03-5550-2436（教育センター生涯教育部 直通）

e-mail: nintei@slcn.ac.jp

オンライン授業受講のために必要な環境について

オンライン授業を行う場合に研修生の皆様に整えていただく必要のある環境について、以下に示します。

1. パソコン環境

オンライン授業やレポートの作成・提出に必要となるパソコンの推奨環境を、以下に示します。

機種	OS	ブラウザ（最新版）	基本ソフト	推奨
Windows	Windows 10 以降	Chrome (又は)Microsoft Edge	Microsoft Office (Word, Excel, PowerPoint 等)	◎
Mac	Mac OS X (v10.12 以降)	Chrome (又は)Safari (又は)Firefox	Microsoft Office (Word, Excel, PowerPoint 等)	○

2. 通信環境

オンライン授業では、Web 会議システム（Zoom 等）の使用・ストリーミング動画の視聴等が想定されるため、通信量無制限・定額制の通信環境を推奨します。

	ネットワーク環境	備考	推奨
1	家庭用のインターネット回線（有線回線）	光回線、ケーブルテレビなど	◎
2	通信容量無制限の Wi-Fi 環境 （固定回線＋Wi-Fi ルータ、モバイル Wi-Fi）	電波状況により不安定になることも あるが可	○
3	モバイル通信 （iPhone 等のスマートフォンを経由）	通信量制限を超え、多額の追加料 金が発生する可能性あり	△

※ご自身の契約内容をご確認のうえ、必要に応じて見直しをご検討いただくことをお勧めします

3. その他

以下のものを、ご準備ください。

- ① Web カメラ（パソコン内蔵でも可） 【必須】
- ② マイク（パソコン内蔵でも可） 【必須】
- ③ ヘッドホンまたはヘッドセット 【推奨】
- ④ プリンター ※コンビニエンスストアのプリントサービス等、必要時に印刷ができる手段があれば可
【推奨】

4. 備考

研修のための学内システム（学習支援システム、学内メール等）については、入学後に操作方法についての情報提供・サポートをいたします。ご自身のパソコンの操作やインターネット接続設定については、研修生自身で行えるようご準備をお願いします。